

ApeosPort-IV C7780
ApeosPort-IV C6680
ApeosPort-IV C5580
DocuCentre-IV C7780
DocuCentre-IV C6680
DocuCentre-IV C5580

はじめにお読みください

• 安全にご利用いただくために	2
• 規制について	17
• 環境について	19
• 法律上の注意事項.....	20
• 電源について	21
• 注意 / 制限事項について	26

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、
米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標および商標です。
Adobe、PostScript、Adobe PostScript 3 は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。
BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。
ライセンスについては、『ユーザーズガイド』の「ライセンスについて」に記載しています。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

XEROX、そのロゴと“コネクティング・シンボル”のマーク、ApeosWare は、
米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

⚠ 警告 新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。	
各警告図記号は以下のような意味を表しています	
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。
△ 記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。	
 静電気 破損注意 注 意 発火注意 破裂注意 感電注意 高温注意 回転物注意 指挟み注意	
⊘ 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。	
 禁 止 火気禁止 接触禁止 風呂等での使用禁止 分解禁止 水ぬれ禁止 ぬれ手禁止	
● 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。	
 指 示 電源プラグを抜く アース線を接続せよ	

電源およびアース接続時の注意

警告



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため電源コードのプラグから出ている緑と黄色縞のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 850mm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事 (D 種) を行っている接地端子

アース接続は必ず、「電源プラグを電源につなぐ前に」行って下さい。
また、アース接続を外す場合は必ず、「電源プラグを電源から切り離してから」行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管 (引火や爆発の危険があります。)
- 電話専用アース線および避雷針 (落雷時に大量の電流が流れる場合があります。)
- 水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、機械には D 種以上の接地工事を必ず実施してください。



電源コードは、機械近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。



機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



電源コードにもものを載せないでください。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。

また、専用電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社のテレフォンセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

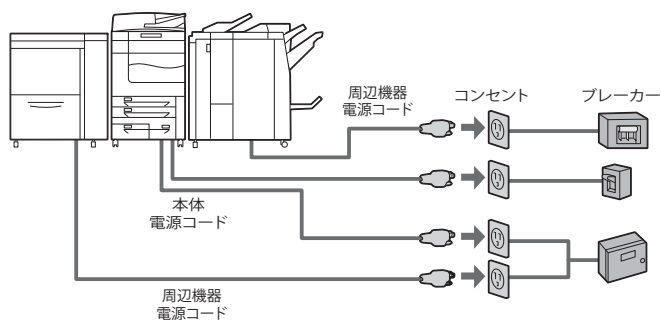


本機は2本の電源コードを使用しています。本機の電源供給を完全に停止するためには、すべての電源コードを抜く必要があります。



本機の電源容量は、電源コード毎に11A、9Aです。それぞれの電源コードは配電盤のブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じ配電盤のブレーカーにつながっているコンセントに接続するとブレーカーが遮断するおそれがあります。

周辺機器は配電盤のブレーカーの容量を確認し、本体とは別のコンセントに接続してください。



⚠ 注意



機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、本体フロントカバー内にある主電源スイッチを切ってから必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



機械の電源スイッチおよび主電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



連休などで長期間、機械（ファクシミリ機能など）をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、本体フロントカバー内にある主電源スイッチを切ってから必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。なお電源スイッチを切った場合は、ファクシミリによる受信ができなくなりますのでご注意ください。



1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
- 電源コードにきれつや擦り傷などがないか。

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、本体フロントカバー内にある主電源スイッチを切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。

設置時の注意

警告



機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

注意



以下のような場所には機械を設置しないでください。

- 発熱器具に近い場所
- 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 調理台や加湿器のそばなど

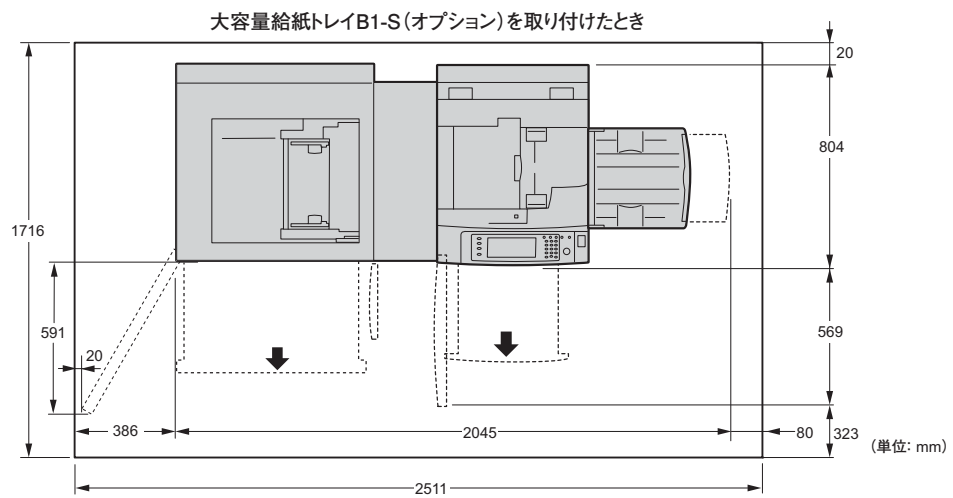
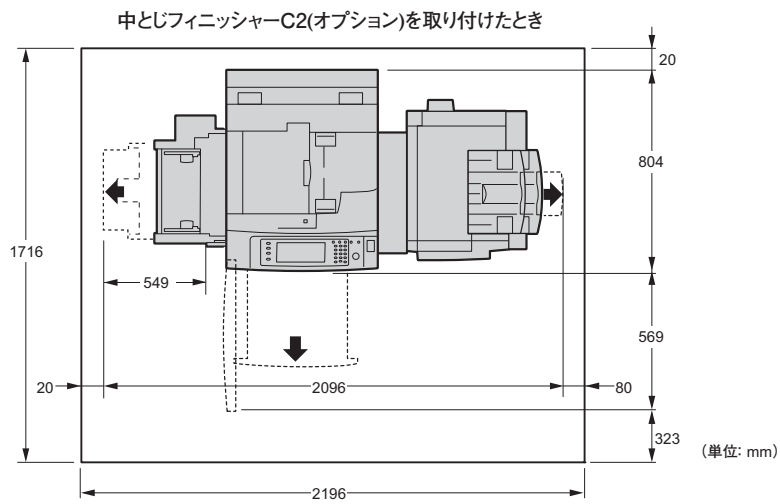
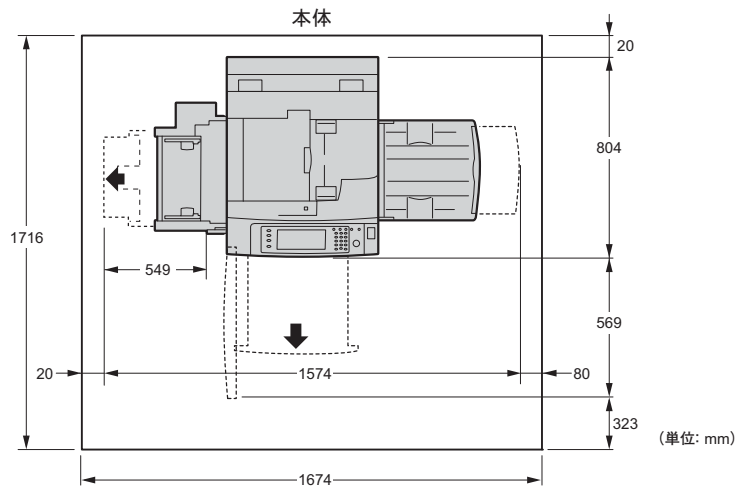


機械は、付属製品を含めた総質量 541kg（大型カラー操作パネル、自動両面原稿送り装置、中とじフィニッシャー D2 P、大容量給紙トレイ B1-S 装着時の最大質量）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。



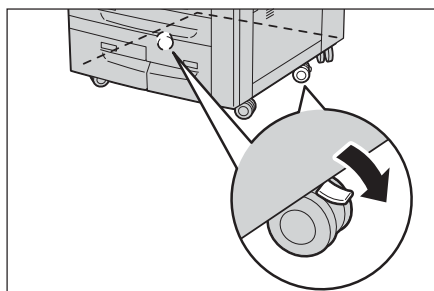
機械には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、次ページ以降の設置スペースを確保してください。また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。





機械を設置したあとは、キャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックし、アジャスターフットを床まで下げてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。



その他



本機器の使用環境は次のとおりです。

- 温度：10～32℃
- 湿度：15～85%

ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。



機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。

機械使用上の注意

警告



この説明書に明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。



この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。



次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、本体フロントカバー内にある主電源スイッチを切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- 機械の内部に水が入ったとき
- 機械が水をかぶったとき
- 機械の部品に損傷があったとき



機械の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、機械の上に置かないでください。

- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- クリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。



消耗品収納部には液体や粉体、微小な金属片およびそれらの入った容器を収納しないでください。液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となります。



消耗品収納部には危険物（壊れ物、揮発・引火性物質、薬品、生き物など）を収納しないでください。引火し、火災の原因となります。



電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。



機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。



トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。



付属の CD-ROM を CD-ROM 対応プレーヤー以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。



レーザーについて

取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になるおそれがあります。失明、やけどなどの原因となるおそれがあります。

この機械は、レーザーの国際規格 IEC60825 (Class 1 レーザー機器) に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは機械内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。したがって、お客様のご使用中にレーザーに被爆することはありません。

⚠ 注意



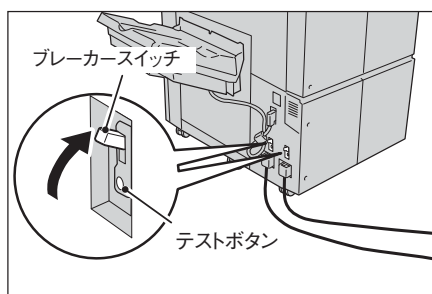
機械の安全スイッチを無効にしないでください。機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があります、ケガや感電の原因となるおそれがあります。



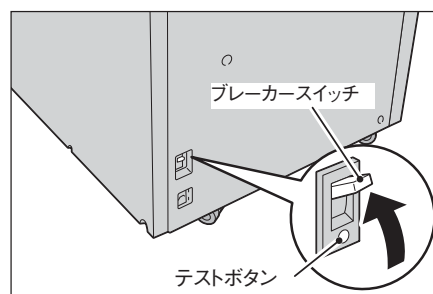
機械の本体には漏電ブレーカーが付いています。機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。通常は入っている状態（「ON」の状態）にしておきます。1か月に一度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。異常などがある場合は弊社のテレフォンセンターまたは販売店までご連絡ください。

なお、漏電ブレーカーの確認手順は以下のとおりです。

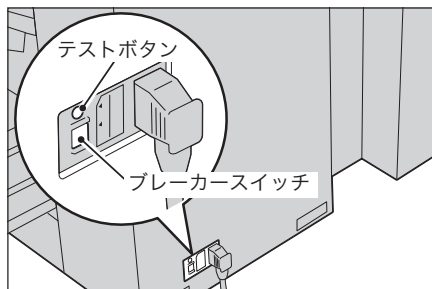
1. テストボタンを押す。ブレーカースイッチが切れます。（「OFF」の状態）（正常に作動しています。）
2. ブレーカースイッチを入（「ON」の状態）に戻す。



本体



大容量給紙トレイ B1-S



中とじフィニッシャー D2 P



機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。

特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。



フィニッシャーが作動しているとき、用紙排出部には触れないでください。ケガの原因となるおそれがあります。



詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。



ホチキスダストボックスを取り外すときは、針くずにより指などにケガをしないように十分にご注意ください。



まれに排出された用紙に針くずが付着される場合がありますので、指などにケガをしないように十分ご注意ください。



安全スイッチには、絶対に触れないでください。前面カバーを開けたとき、安全スイッチが働いて、機械は作動しなくなります。安全スイッチを硬貨やドライバーなどで押すと、機械は作動状態になり、ケガの原因となることがあります。



穴があいた用紙（市販の穴あき用紙など）の穴がある位置に、ホチキスを留めないでください。飛び出した針により、ケガの原因となるおそれがあります。



消耗品収納部には耐荷重 80kg を超える重量物を収納しないでください。変形や破損のおそれがあります。



消耗品収納部から収納物を取り出す際は落下しないようにご注意ください。足などにあたりケガをするおそれがあります。



消耗品収納部扉の取っ手部を持ってやさしく開閉してください。扉の上部や下部を持って開閉すると、指などを挟みケガをするおそれがあります。



消耗品収納部扉に体重をかけたり扉を無理に持ち上げたりしないでください。破損するおそれがあります。



消耗品収納部扉を全開にしたら、それ以上は無理に広げないでください。破損するおそれがあります。



消耗品収納部扉に衝撃を与えないでください。変形や破損の原因となり、扉が落下してケガをする恐れがあります。



書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。



機械を移動するときは、弊社カスタマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。



換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。



本ラベル付近にある露出したコネクタには触れないでください。静電気の放電などで故障するおそれがあります。

消耗品取り扱い上の注意

警告



消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。



床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、弊社テレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。



トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは、必ず弊社テレフォンセンターまたは販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。



トナー回収ボトルは、絶対に火中に投げないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、必ず弊社テレフォンセンターまたは販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。

注意



ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。



ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。



次の事項に従って、応急処置をしてください。

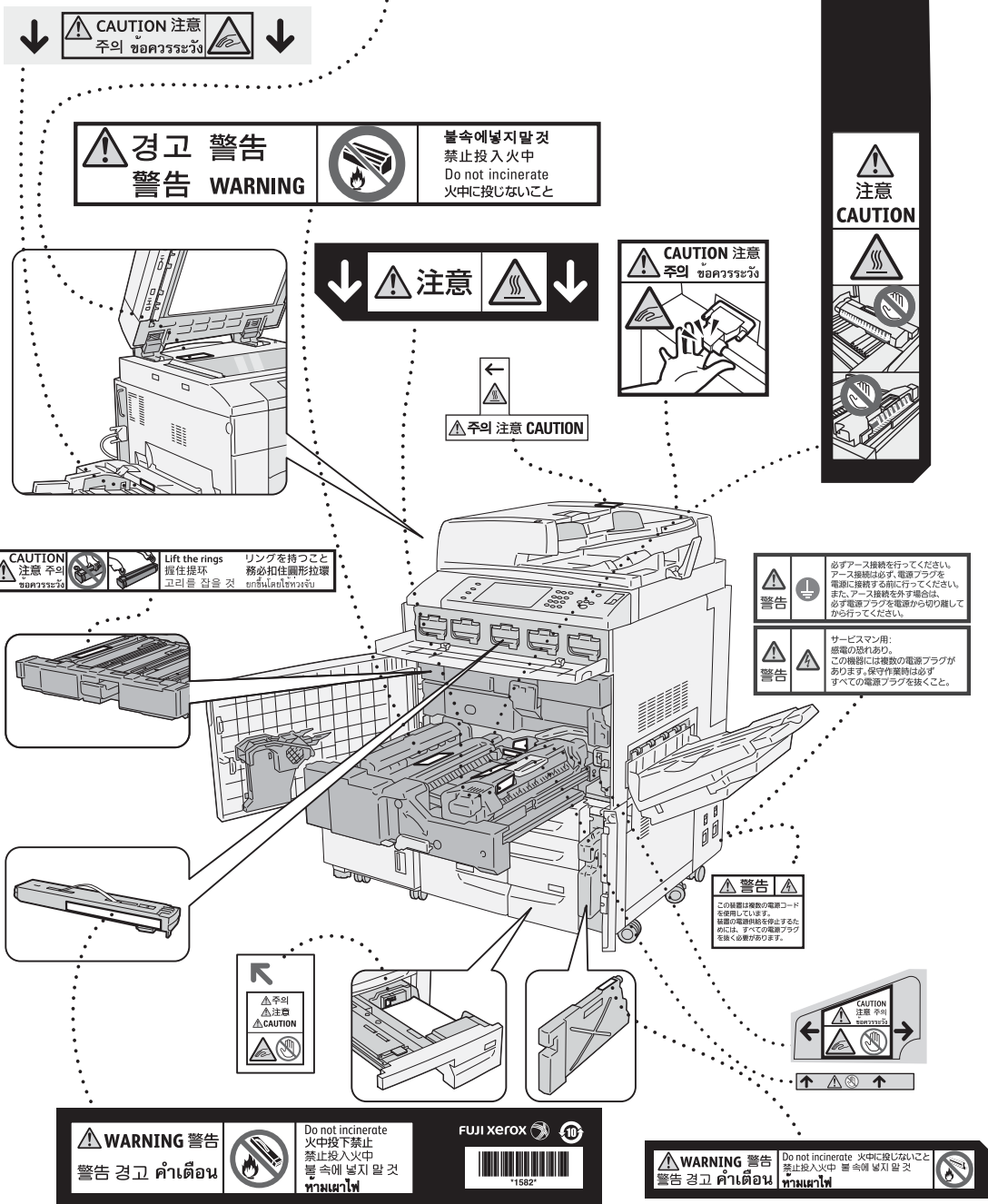
- トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

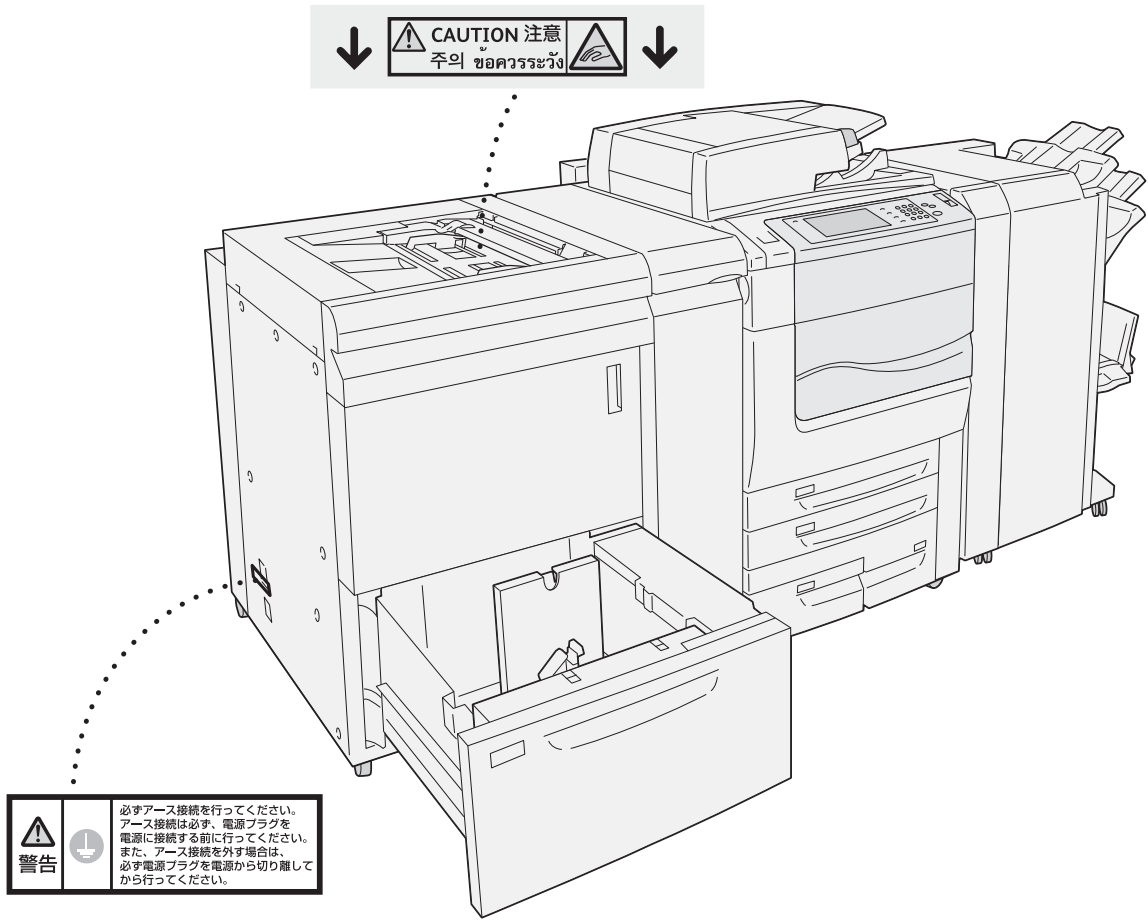
警告および注意ラベルの貼り付け位置

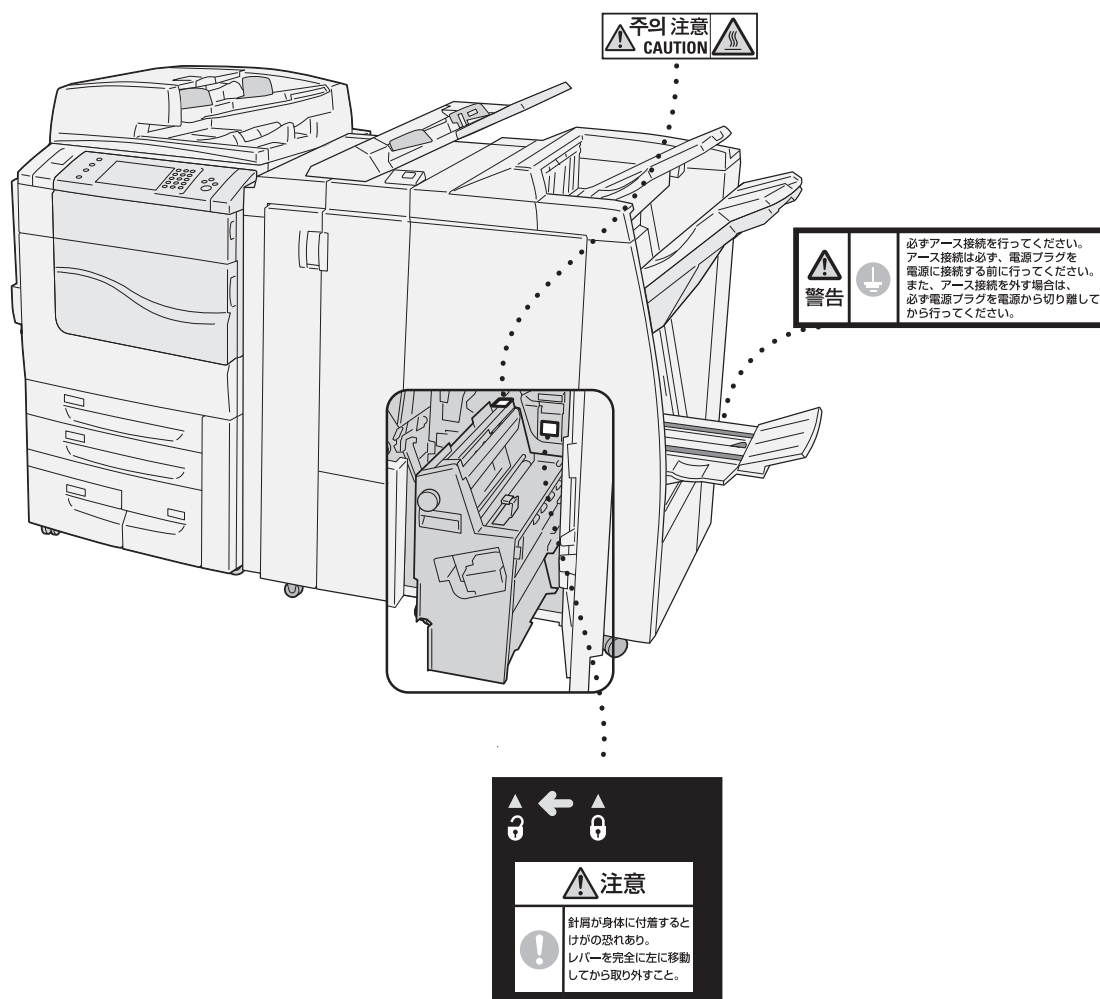


機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。
特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。

⚠ CAUTION Do not stare at light. It may cause discomfort or irritation to your eyes.
 ⚠ 注意 ランプの光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となることがあります。
 ⚠ 注意 请勿直视曝光光源，以免造成眼睛疲劳及伤害眼睛。
 ⚠ 注意 請勿直視曝光光源，以免造成眼睛疲勞及傷害眼睛。
 ⚠ 주의 광원을 보지 않아 주십시오. 눈의 피로 또는 통증의 원인이 될 수 있습니다.
 ⚠ ข้อควรระวัง ห้ามจ้องมองแสงไฟ เพราะอาจทำให้ปวดหรือระคายเคืองดวงตา







規制について

電波法について

⚠ 警告



埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本装置または本装置のワイヤレスカードシステムのリーダライタ部（アンテナ部）から 12cm 以上離れて携行および使用してください。電波により埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。

⚠ 注意



航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本装置の設置および使用は許されません。電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内などの使用を禁止されている場所で本装置を使用した場合、法令により罰せられる場合があります。



医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本装置を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本装置（ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580）を使用しないでください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本装置（ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580）を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本装置（ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580）の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

電磁波障害対策自主規制について

⚠ 注意



この装置は、クラス B 情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

受信障害について

注意



ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。

電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2 (高調波電流発生限度値) に適合しています。

環境について

- 粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物（TVOC）の放散については、エコマーク複写機の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580、DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580 トナー を使用し、試験方法 Blue Angel RAL UZ-122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）
- 回収したトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- 不要となったトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジおよびドラムカートリッジの容器は、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
 - 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
 - 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
 - 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
 - 役所または公務員の印影、署名、記名。
 - 私人の印影または署名。

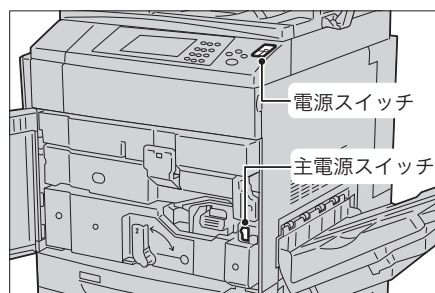
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
 - (1) 複製 紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
 - (2) 改変 紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
 - (3) 送信 電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

権利者の許諾なく、複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。

- 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
- 国立図書館、私立図書館、学校附属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
- 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
- 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。
ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
- 学校教科書への掲載。
ただし、権利者への補償金が必要です。
- 学校その他教育機関における複製。
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
- 試験問題としての複製。
ただし、権利者への補償金が必要です。

電源について

本機には、電源スイッチと主電源スイッチがあります。



■ 電源スイッチ

本機を動作させるときに、電源スイッチの [|] 側を押して、電源を入れます。ウォームアップが終了すると、各機能の操作ができるようになります。

■ 主電源スイッチ

主電源スイッチの [○] 側を押すと、操作パネルの右側にある〈主電源〉ランプが消灯し、本機の電源が完全に切れます。ファクス機能をお使いの場合、主電源を切るとファクスのメモリーに蓄積されている内容が消去されることがあるので、ケーブルの接続や清掃などを除き、通常は主電源スイッチを切らないでください。

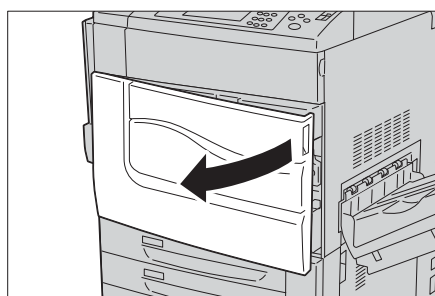
主電源を入れる

主電源の入れかたについて説明します。

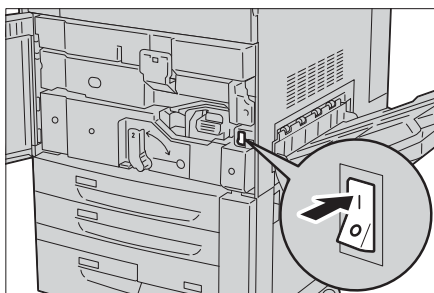
■ 注記

- 主電源を入れた直後に、主電源を切らないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。

- 1 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているかを確認します。
- 2 フロントカバーを開けます。



- 3 主電源スイッチの [|] 側を押して、主電源を入れます。



操作パネルの〈主電源〉ランプが点灯します。

- 4 フロントカバーを閉じます。

電源を入れる

電源の入れかたについて説明します。

電源スイッチを入れてから、90 秒ほどでコピー、またはプリントできる状態になります。機械の構成によっては 90 秒以上かかることがあります。

長時間使用しない場合や、1 日の終わりには電源を切ってください。

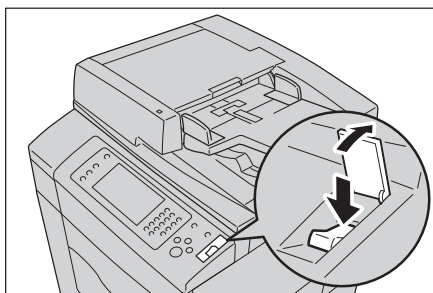
また、節電機能を使用すると、本機の電力を節約できます。

参照

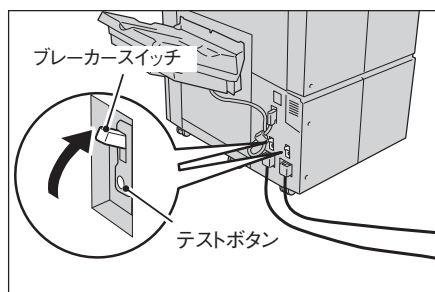
- 節電機能については、『ユーザーズガイド』の「2 機械の構成」>「節電機能について」を参照してください。

注記

- 電源を切った場合、本機のすべての機能は停止します。ファクス受信などで、終日使用する場合は、電源を切らないください。

1 電源スイッチの [|] 側を押して、電源を入れます。**補足**

- 「お待ちください ...」が表示されているときは、本機のウォームアップ中です。この間は、使用できません。
- 電源が入らない場合は、次のことを確認してください。
 - 電源プラグが入っているか
 - 主電源が入っているか
 - ブレーカースイッチが入（「ON」の状態）になっているか

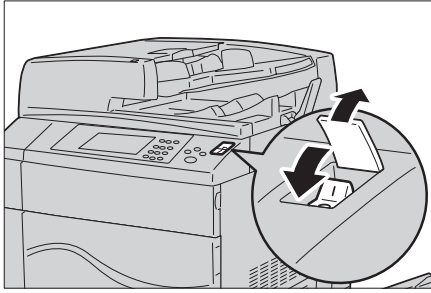
**電源を切る**

電源の切りかたについて説明します。

1 コピー、またはプリントが完全に終了していることを確認します。また、〈データ〉ランプが消えていることを確認します。**注記**

- 次の状態の場合は、電源を切らないでください。電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。
 - データの受信が行われている
 - プリント処理が行われている
 - コピーが行われている
 - スキャンが行われている
- 用紙排出終了後、5秒たってから、電源を切ってください。

- 2 電源スイッチの [O] 側を押して、電源を切ります。



注記

- 電源スイッチを切ったあとも、しばらくの間は本機内部で電源オフ処理をしています。したがって、電源スイッチを切った直後に主電源を切らないでください。

補足

- 電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、画面消灯後、15秒待ってから入れてください。

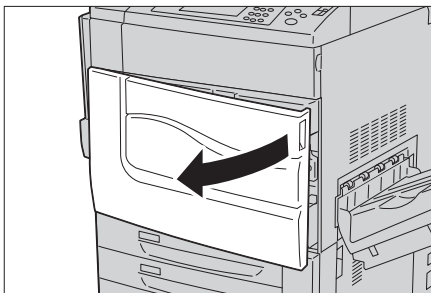
主電源を切る

主電源の切りかたについて説明します。

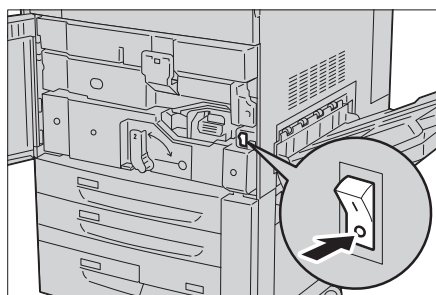
注記

- タッチパネルディスプレイ画面が表示されているとき、または〈節電〉ボタンが点滅しているときは、主電源を切らないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、主電源を切ってから抜いてください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。

- 1 電源が切れていることを確認します。
- 2 タッチパネルディスプレイ画面が消えていること、〈節電〉ボタンが消灯していることを確認します。
- 3 フロントカバーを開けます。



- 4 主電源スイッチの [○] 側を押して、主電源を切ります。



操作パネルの〈主電源〉ランプが消灯します。

- 5 フロントカバーを閉じます。

注意 / 制限事項について

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

本機使用上の注意 / 制限

■メモリーの増設について

市販のメモリーは使用できません。トラブルが発生した場合、機械の動作保証ができなくなりますので、必ず専用のオプションを使用してください。取り付けは、弊社のカスタマーエンジニアが行います。

■節電状態からの操作について

- スリープモードから復帰後、仕様設定の操作が可能になるには、約5秒がかかります。
- タッチパネルディスプレイの点灯が必要ない操作（コンピューターからのプリント指示など）をした場合、〈節電〉ボタンは点灯したままになります。
- スキャナを使用するサービスが選択されていない状態などのように、原稿送り装置に通電されていない状態で原稿送り装置の上面カバーを開閉しても、タッチパネルディスプレイにメッセージは表示されません。ただし、上面カバーを開いた状態で、通電する（節電を解除する）とタッチパネルディスプレイに、確認メッセージが表示され、〈エラー〉ランプが点灯します。
- スキャナを使用するサービスが選択されていない状態などのように、原稿送り装置に通電されていない状態で原稿をセットしても、確認ランプは点灯しません。ただし、原稿をセットした状態で通電する（節電を解除する）と、確認ランプが点灯して、原稿を検知します。
- 原稿ガラスでコピーおよびスキャンをするために、節電中に原稿カバーを開けた場合、節電を解除します。
- 節電解除後、原稿読み取り装置が通電されていない状態で原稿カバーを開けた場合、原稿読み取り装置および原稿送り装置に通電されます。ただし、原稿ガラスで原稿検知が可能になるためには、原稿ガラス内の原稿読み取り部が、原稿サイズ検知位置に移動するのを確認してから原稿カバーを閉じて下さい。
- 節電復帰後、コピー、セキュリティプリント出力などの出力装置を使用するサービスが選択されていない状態で次の操作をしても、タッチパネルディスプレイにメッセージは表示されません。
 - 原稿送り装置の上面カバーの開閉
 - フロントカバーの開閉
 - 左側面下部カバーの開閉
 - 用紙トレイの引き出し
 - フィニッシャーの正面カバーの開閉、ボタン押下など、すべての操作ただし、各カバーを開いたまま、または用紙トレイを引き出したままの状態に通電する（節電を解除する）と、確認メッセージが表示され、〈エラー〉ランプが点灯します。
- 節電解除後、出力装置を利用する機能が実行されていない状態では、トナー残量やドラムの状態、用紙などの消耗品関連の情報と、用紙トレイの状態は、節電状態に入る前に検知した値を表示または通知します。

- 節電解除後、出力装置を利用する機能を実行する前にコピー機能を利用する場合、次の点に注意してください。
用紙トレイにセットされている用紙サイズや残量などの情報は、節電に入る前の情報が表示されています。節電中に用紙サイズ、残量を変更した場合、画面に反映されるまでに約5秒かかります。
- タッチパネルディスプレイの初期表示画面に、コピー、らくらくコピー、ジョブメモリー、音声ナビを設定している場合は、節電状態が解除されると、本機全体が節電解除されます。
- トレイセット時の用紙変更画面表示が「する」に設定されている場合は、節電状態が解除されると、本機全体が節電解除されます。
- 〈機械確認〉ボタン操作時、機械管理者モード移行時、ジョブメモリー選択時には、本機全体が節電解除されます。
- EP-DX による EP サービス利用時は、スリープモードが解除され、本機全体が節電解除されます。EP-BB による EP サービス利用時は、スリープモードは解除されません。
- [仕様設定]>[ネットワーク設定]>[ポート設定]で[EtherTalk-ポート]を[起動]に設定した場合、または [USB] > [USB プリントモード指定] を [自動] 以外に設定しているときは、節電状態が解除されると、本機全体が節電解除されます。
- ContentsBridge Utility のジョブチケットを使って、セキュリティプリント実行した場合、出力装置にも通電されます。

コピー機能 / プリント機能使用上の注意 / 制限

■コピー機能について

本機には、全面コピー機能はありません。

■白黒原稿／カラー原稿混在時の N アップ機能とメーターのカウンタについて

白黒とカラーが混在した原稿を、[まとめて1枚(N アップ)] でコピーした場合、白黒ページとカラーページが1枚になったページは、カラーページとしてカウンタされます。

■両面プリントでのメーターのカウンタについて

両面プリントする場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定する条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。このときにアプリケーションが挿入する白紙出力は、カウンタアップの対象となります。

■透かし印字でのメーターのカウンタについて

複製管理拡張キットを利用して原稿に透かし印字（アノテーション、強制アノテーションなど）をした場合、メーターのカウンタは次のようになります。

カラー原稿の場合は、透かし印字のありなしにかかわらず、カラーコピーでメーターがカウンタされます。

白黒原稿の場合は、透かし文字をカラーで指定していればカラーでカウンタされ、白黒で指定していれば白黒でカウンタされます。

■2色コピー／単色コピー時のメーターカウンタについて

2色カラーコピー、単色カラーコピーは、カラーコピーでメーターがカウンタされます。

■カラーモード [自動] について

コピー機能でカラーモード [自動]、プリンター機能でカラーモード [カラー (自動)] を選択した場合、原稿が白黒であっても、イエロー、マゼンダ、シアンのドラムやトナーを消耗する場合があります。

また、[仕様設定] > [共通設定] > [その他の設定] > [カラーモード自動時の印刷動作] で [速度優先] を選択した場合は、常にイエロー、マゼンダ、シアンのドラムやトナーが使用されるため、白黒の原稿であってもイエロー、マゼンダ、シアンのドラムやトナーが消耗します。

■サイズ混在原稿をプリントするときの向きについて

- プリンタードライバーからのサイズ混在原稿のプリント可能な組み合わせは、A4 と A3、B5 と B4、8.5 × 11 インチ (Letter) と 11x17 インチ (Tabloid)、十六開と八開の 4 種類です。
- 使用するアプリケーションによっては、原稿の向き (縦向き、横向き) を正しく判断できないため、サイズ混在原稿の組み合わせによっては、原稿の上下が逆にプリントされる場合があります。
- 親展ボックス内の文書をプリントするとき、原稿の上下が逆にプリントされる場合があります。

ファクス / インターネットファクス機能使用上の注意 / 制限

■光回線や IP 電話回線におけるファクス通信について

当社製品は、NTT のアナログ回線規格に準拠しています。お客様が利用している (または、これから利用しようとしている) 回線が、光回線や IP 電話回線の場合には、伝送路の回線品質 (パケットロス、エコー、遅延等) により、ファクス通信がエラーになることがあります。その場合は、回線事業者にお問い合わせください。

■中継同報機能について

本機には、中継指示局の機能はありますが、中継局の機能はありません。

本機は G4 通信に対応していませんが、中継局が G4 通信に対応している場合は、中継同報指示として、中継局が行う G4 通信の機能を選択できます。

(G4 通信対応、または内線 / 外線切り替え機能付きの機械は除く。)

■F コード通信で対応している機能について

F コード通信で対応している機能は、親展送信、親展ポーリング、親展受信、中継同報、リモート中継同報だけです。

スキャン機能使用上の注意 / 制限

■スキャナー (PC 保存) の FTP 転送について

- 本機からスキャン画像を FTP 転送する場合の通信モードは、Passive 通信モードです (工場出荷時)。
- FTP の通信モードは、CentreWare Internet Services で切り替えできますが、ジョブ単位、転送先の FTP サーバーごとの切り替えはできません。

- お客様のネットワーク環境によっては、FTP の通信モードを [Passive モード] から [Active モード] に切り替えないと、正しく動作しない場合があります。

[Passive モード] は、接続時にサーバーがクライアントへデータ転送用のポートへの接続を許可し、クライアント側から接続します。[Active モード] よりもセキュリティ上の危険性が少なく、一般的な通信モードです。

[Active モード] は、接続時にクライアントからデータ転送用のポート番号を通知して、サーバー側から接続します。この方法では、第三者によるなりすましなどセキュリティ上の危険性があります。

また、ファイアーウォールなどを使った環境では、うまく接続できないことがあります。その場合は、[Passive モード] を選択してください。

コンピューターから操作する場合の注意 / 制限

■Macintosh について (PostScript3 キット (オプション))

- Mac OS X 10.3.9-10.4.11/10.5-10.6 (10.4.7 は除く) 用のプリンタードライバーでは、Plug-in を採用しているため、認証情報の設定、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリント、ボックス保存プリントなどが使用できます。
- 上記以外の Plug-in を採用していないプリンタードライバーでは、認証情報の設定、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリント、ボックス保存プリントなどが使用できません。
- Mac OS X 10.3.9 または Mac OS 9.2.2 で、奇数ページの文書を両面出力すると、最後のページのあとに白紙ページが追加されて、白紙ページ分もメーターにカウントされます。

■CentreWare Internet Services について

- CentreWare Internet Services の [CSRF 対策] を有効にすると、お使いの Web ブラウザーや、Web ブラウザーの利用状況、ネットワーク環境によっては、CentreWare Internet Services にアクセスできなくなることがあります。その場合は、アクセス可能なコンピューターからアクセスしてください。[CSRF 対策] を無効にする場合は、機械管理者にお問い合わせください。アクセス可能なコンピューターがない場合は、カスタマーエンジニアにお問い合わせください。

CSRF とは、悪意のある Web サイトが、そこにアクセスしてきたコンピューターを介して、ほかの Web サイト上で操作を実行させる攻撃手法のことです。本機能は、お客様が悪意のある Web サイトにアクセスしてしまった際に、CentreWare Internet Services へ意図しない操作が実行され、本機の設定等が変更されることを防ぐための機能です。

- CentreWare Internet Services を使って、ジョブ履歴レポートを CSV 形式で取得するには、オプションのハードディスクが必要です。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

ジョブフローの注意 / 制限

■ジョブフローの高圧縮対応について

- スキャン機能の [出力ファイル形式] の [高圧縮 (MRC)] を [する] に設定する場合は、次を機能を次の値の範囲で設定してください。
 - カラーモード：[自動]、[フルカラー]、[グレースケール (256 階調)]
 - 読み取り解像度：[200dpi]、[300dpi]
 - 読み取り倍率：[100%]
 - 出力ファイル形式 (サムネイル指定なし)：[PDF]、[DocuWorks]、[XPS]
 - 出力ファイル形式 (サムネイル指定あり)：[DocuWorks]、[XPS]

上記以外の値が設定された場合、本機へのジョブフローの登録はできますが、本機側でジョブフローを実行した場合にエラーとなり、ジョブフローは実行されません。

認証 / 集計管理機能使用上の注意 / 制限

■外部認証について (ApeosPort シリーズのみ)

- 外部認証では、本機の操作パネルで操作できること (コピー、スキャン、ファクス、インターネットファクス、課金認証プリント、プライベートプリント) だけが、利用制限の対象となります。カラーモード制限*や枚数制限などはできません。
*認証サーバーが ApeosWare Authentication Agent サーバーの場合は、カラーモード制限ができます。
- 外部認証の場合、プリントおよびダイレクトファクスの利用制限はできません。プリントは、認証プリントまたはプライベートプリントで運用してください。ダイレクトファクスはセキュリティの問題がある場合は、ダイレクトファクスを禁止してください。ダイレクトファクスを禁止に設定したい場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご連絡ください。
- 外部認証に変更する場合、または外部認証からほかの認証モードに変更する場合、本機に登録されたユーザー情報、個人の親展ボックス、および個人ジョブフローが削除されます。
- ApeosWare Management Suite の Authentication Management、および ApeosWare Authentication Agent は、認証ユーザーの証明書をサーバーから自動で取得する機能には対応していません。

ApeosPort-IV C7780/C6680/C5580
DocuCentre-IV C7780/C6680/C5580

はじめにお読みください

著作者－富士ゼロックス株式会社
発行者－富士ゼロックス株式会社

発行年月－2010年 11月 第1版

(帳票番号:DE4495J1-1)

Printed in China


「困った！」が 解決しないときは

保守・操作・修理(内容・期間・費用など)のお問い合わせは、
テレフォンセンターまたは販売店へ。
消耗品(トナー、ドラムなど)のご注文は、商品センターまたは販売店へ。
電話番号は、機械本体に貼付のカードやシールに書かれています。

受付時間 土曜、日曜、祝日を除く **9時 ~ 17時30分** (一部の地域では異なります)

電話番号 機械本体に **貼付のカード** をご確認ください。

カードの例 ①



保守・操作の問い合わせ (テレフォンセンター)
TEL.
FAX.
用紙・消耗品のご用命 (商品センター)
TEL.
お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機種
機種 No.
メーカー連絡票に記載されている 機種コード
FUJI XEROX

保守・操作の問い合わせ (テレフォンセンター)
TEL.
FAX.
用紙・消耗品のご用命 (商品センター)
TEL.
お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機種
機種 No.
メーカー連絡票に記載されている機種コード
S-3064

ここに書いてあります

**電話
番号**

**トナーなど
消耗品
のご注文は**

カードの例 ②

FUJI XEROX
 保守・操作のお問合せ 消耗品のご用命は 裏面の電話番号へご連絡ください。

- カードは、名刺くらいの大きさです。
- 色やイメージが、イラストと異なる場合もあります。
- 問い合わせ先がわからない場合は、お客様相談センターで、電話番号を確認してください。

操作、保守(内容、期間、費用など)のお問い合わせは ▶ テレフォンセンターまたは販売店へ

TEL.
機種 <input type="checkbox"/> アペオスポート <input type="checkbox"/> ApeosPort
機種 <input type="checkbox"/> ドキュセンター <input type="checkbox"/> DocuCentre
機種 No.

お問い合わせ時に、機種と機種 No. をおうかがいします。メモとしてご利用ください。

● 本機を廃棄する場合は、弊社の営業担当者にご連絡ください。

ご意見やご相談の受付窓口

お客様相談センター ☎ 0120-27-4100

土、日、祝日および弊社指定休業日を除く 9時～12時、13時～17時

● フリーダイヤルは、携帯電話・PHS および海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

商品全般に関する情報

ホームページアドレス URL <http://www.fujixerox.co.jp/>

● 商品全般に関する情報、最新ソフトウェアなどを提供しています。

◎ この取扱説明書は、再生紙を使用しリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は回収、リサイクルに出しましょう。

富士ゼロックス株式会社

1版 2010年11月 帳票番号：DE4495J1-1 部番：897E 82650

